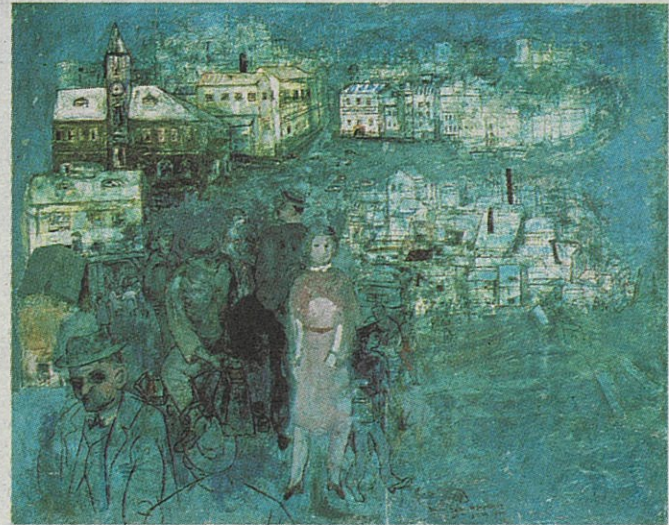


## 文化・芸術



「街」

1938年、油彩、板  
131.0cm×163.0cm

### 松本竣介 (1912〜47年)

大川美術館の顔と時の街が醸すモダンさ  
もいえる本作は、1938年の第25回二科展  
に出品されました。40年ごろまで続く竣介の  
「都会シリーズ」の初期作品でもあります。

まず目を引くのは中央のモダンな装いの女性ですが、その他にも靴磨きや兵隊、カフェに集う人々などたくさんの人たちが線描で描かれています。竣介の線の美しさ、絵の具の重なるの味わいが存分に感じられる作品です。

とがうかがえます。

今年、36歳の若さで亡くなった松本竣介の没後70年にあたり、当館では4会期にわたり松本竣介展を企画しています。その第1弾、「松本竣介—アトリエの時間展」が13日(土)から始まります。「街」は本作が描かれる前年に日中戦争が勃発。当

展のポスターにも採用されています。(池田)

### 〈名画の扉〉

大川美術館企画展から